

昭和56年8月24日

あれから40年、なくしてはいけない記憶がある

小貝川堤防決壊40年シンポジウム ～龍ヶ崎市市民防災フェア2021～

令和4年(2022年)

2月6日(日)

入場無料

※申し込み多数の場合は先着順

プログラム

●主催者挨拶

●基調講演 **テーマ** 「未来に備えるために」

糸井 羊司 (NHKアナウンサー)

●パネルディスカッション

テーマ 「小貝川堤防決壊40年 次の世代にどう受け継ぐか」

コーディネーター 龍崎 孝 (流通経済大学 副学長)

パネリスト 糸井 羊司 (NHKアナウンサー)

膳場 貴子 (流通経済大学 客員教授・キャスター)

出水田正志 (龍ヶ崎市危機管理監)

竜ヶ崎第一高等学校 / 竜ヶ崎第二高等学校

竜ヶ崎南高等学校 / 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校

●マイ・タイムライン作成講座

●小貝川堤防決壊40年 パネル展示

会場

大昭ホール龍ヶ崎 大ホール
(龍ヶ崎市文化会館)

開場/13:00 開演/13:30～17:00

※当日は駐車場をご利用いただけますが、台数に限りがありますので、公共交通機関での来場にご協力ください。



小貝川堤防決壊40年 シンポジウム

～龍ヶ崎市市民防災フェア2021～

昭和56年に小貝川の堤防が決壊し龍ヶ崎市が大きな被害を被ってから40年の時が過ぎました。龍ヶ崎市では、災害の記憶を持たない住民が人口の半数を超えています。自然災害への備えの難しさは、経験したことのない人には本当に起こるとは思えない事にあります。他の地方の水害のニュースを見たり地域の過去の災害の話聞いてもなかなか、差し迫った危機意識を持つことは出来ません。

災害の経験をどう伝えるか、経験の無い世代に自然災害への備えの必要性を理解してもらうためには何が必要か？小貝川堤防決壊40年の節目の年に「災害経験の伝承」をテーマにシンポジウムを開催します。

プログラム

●主催者挨拶

●基調講演 テーマ 「未来に備えるために」

糸井 羊司(NHKアナウンサー)

●パネルディスカッション

テーマ 「小貝川堤防決壊40年 次の世代にどう受け継ぐか」

コーディネーター 龍崎 孝 (流通経済大学 副学長)

パネリスト 糸井 羊司 (NHKアナウンサー)

膳場 貴子 (流通経済大学 客員教授・キャスター)

出水田正志 (龍ヶ崎市危機管理監)

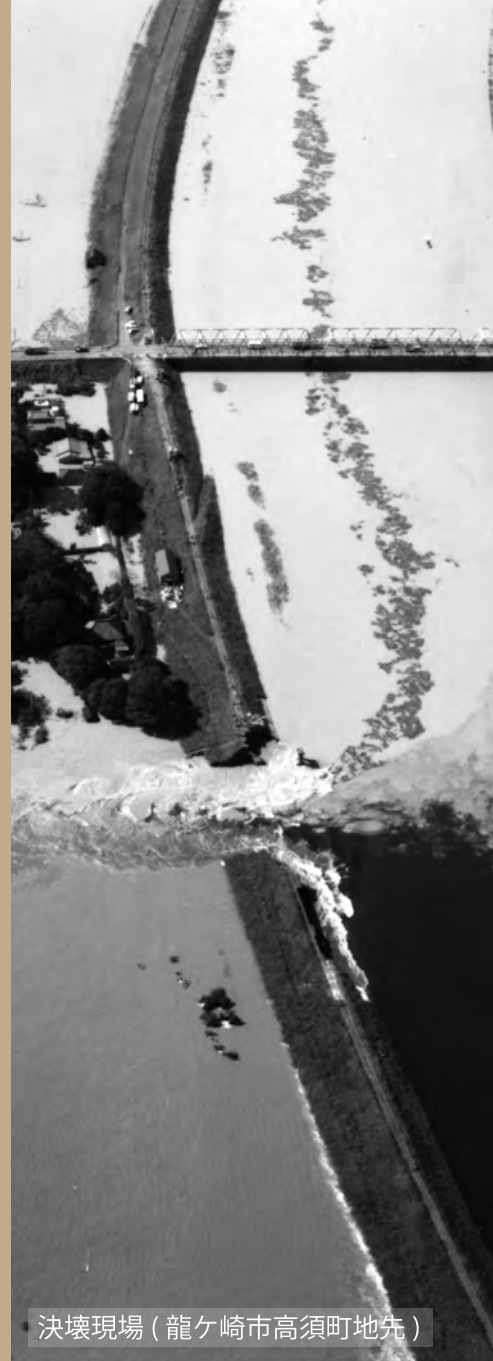
竜ヶ崎第一高等学校／竜ヶ崎第二高等学校

竜ヶ崎南高等学校／愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校

龍ヶ崎市立龍ヶ崎西小学校

●マイ・タイムライン作成講座

●小貝川堤防決壊40年 パネル展示



決壊現場(龍ヶ崎市高須町地先)

お申込み方法

下記の欄に必要事項をご記入の上、龍ヶ崎市危機管理課へ直接お持ちいただくか、郵送、FAXにてお申込みください。WEBでのお申込みも受付けております。

ふりがな 氏名	-----	住所		TEL	
ふりがな 氏名	-----	住所		TEL	

申し込み締切：令和4年1月28日(金)まで

WEBでのお申込みはこちらから！



※参加者全員の事前登録が必要です。

※個人情報、本シンポジウムの連絡以外には使用いたしません。新型コロナウイルス感染症対策として、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供する場合があります。

龍ヶ崎市 危機管理課

住所 〒301-8611 茨城県龍ヶ崎市 3710 番地 **FAX** 0297-60-1583 **お問合せ**：0297-64-1111 (内線 350,351)

新型コロナウイルス感染症に関して

●会場では、以下の対策を実施します。

①アルコール消毒液の設置 ②館内消毒・換気・広めの座席配置 ③入場時の検温・マスク着用・手指消毒の徹底

●今後の感染症の状況により、イベントを中止とする場合があります。